

栄光のあと

回数	年度	開催県	男子		女子	
			優勝	準優勝	優勝	準優勝
0	13	徳島	下笠居(香川)	八万(徳島)	八万(徳島)	近見(愛媛)
1	14	高知	城東(徳島)	志度(香川)	土佐女子(高知)	城東(徳島)
2	15	愛媛	城東(徳島)	志度(香川)	明徳義塾(高知)	高瀬(香川)
3	16	香川	明徳義塾(高知)	丸亀東(香川)	明徳義塾(高知)	中萩(愛媛)
4	17	徳島	明徳義塾(高知)	小野(愛媛)	明徳義塾(高知)	日吉(愛媛)
5	18	高知	明徳義塾(高知)	西部(高知)	明徳義塾(高知)	土佐女子(高知)
6	19	愛媛	明徳義塾(高知)	西部(高知)	明徳義塾(高知)	小野(愛媛)
7	20	香川	明徳義塾(高知)	城東(徳島)	土佐女子(高知)	藍住(徳島)
8	21	徳島	明徳義塾(高知)	日吉(愛媛)	土佐女子(高知)	八万(徳島)
9	22	高知	明徳義塾(高知)	久米(愛媛)	明徳義塾(高知)	三島東(愛媛)
10	23	愛媛	明徳義塾(高知)	今治西(愛媛)	明徳義塾(高知)	泉州(愛媛)
11	24	香川	明徳義塾(高知)	日吉(愛媛)	明徳義塾(高知)	城東(徳島)
12	25	徳島	明徳義塾(高知)	富田(徳島)	明徳義塾(高知)	富田(徳島)
13	26	高知	明徳義塾(高知)	久米(愛媛)	明徳義塾(高知)	勝賀(香川)
14	27	愛媛	明徳義塾(高知)	久米(愛媛)	明徳義塾(高知)	日吉(愛媛)
15	28	香川	明徳義塾(高知)	城東(徳島)	明徳義塾(高知)	角野(愛媛)
16	29	徳島	明徳義塾(高知)	日吉(愛媛)	明徳義塾(高知)	安芸(高知)
17	30	高知	明徳義塾(高知)	新居浜南(愛媛)	明徳義塾(高知)	城東(徳島)
18	元	愛媛		中止		
19	2	香川	明徳義塾(高知)	日吉(愛媛)	明徳義塾(高知)	城東(徳島)
20	3	徳島		中止		
21	4	高知	明徳義塾(高知)	三津浜(愛媛)	明徳義塾(高知)	勝賀(香川)
22	5	愛媛	明徳義塾(高知)	今治南(愛媛)	明徳義塾(高知)	城東(徳島)
23	6	香川				

【監督会議資料】

2F会議室 8時20分～

1. 大会会長挨拶

2. プログラムの訂正及び登録メンバーの変更について

3. [競技方法]

- (1) 本大会は、現行の日本卓球ルールを適用する。
- (2) 使用球は、日本卓球協会公認の40mmホワイトボールとする。ニッタク・タマス・VICTASのボールを準備する。
- (3) 試合形式は、令和6年度全国中学校選抜卓球大会方式(4シングルス1ダブルスの6人制)とする。
- (4) 試合は団体戦のみとし、第1ステージの各グループ1位・2位による決勝トーナメントにより優勝を決定する。
3位決定戦は行わない。また、第1ステージ、第2ステージともに3点先取をもって勝ちとする。
- (5) 審判については、相互審判とする。準決勝からは開催県で審判員を出す。
- (6) メンバーの欠員について(四国卓連申し合せ事項)
試合当日やむをえない事由で、登録メンバーに欠員ができた場合は下記に従い競技をする。

1) 対戦相手が人数不足の場合

- ① 1名不足(6人対5人)の場合 → 5名のチームの1番を負けとして試合
- ② 2名不足(6人対4人)の場合 → 4名のチームを1・2番を負けとして試合

2) 両チームとも人数不足の場合

- ① 1名不足(5人対5人)の場合 → 1対1で試合を開始。2番は親善試合。3・4・5番で勝敗を決定
- ② 1名不足と2名不足(5人対4人) → 2対1で試合を開始。3・4番で勝敗を決定。5番は親善試合
- ③ 2名不足(4人対4人)の場合 → 1対1で試合を開始。3・4・5番で勝敗を決定

3) 3名以下の場合は、オープン試合とする。

4. [競技進行]

- (1) 各校は、競技が始まるまでに自分の学校のグループ・番号・試合コート・試合順序・相手チームなどを確認しておく。
ベンチは、若番が本部側とする。
- (2) 各試合のオーダー用紙については、試合が終わるたびに次の試合のオーダー用紙を速やかに本部席まで提出する。
(第1ステージの第1試合は、開会式までに提出する)
予選リーグ第2試合以降の試合については、そのリーグの試合終了10分後に開始する。
- (3) 各試合終了後、その試合の結果(対戦成績・ゲーム数・得点)を記録用紙に記入し、監督同士が確認の上、勝った学校が進行席まで提出する。
- (4) 第1ステージ(予選リーグ)、第2ステージ(決勝トーナメント)とも、コートは、各試合2台使用する。
ただし、進行が遅れている場合は3台を使用することもある。
- (5) 第2ステージに進出できなかった学校及び第2ステージで敗退した学校は、空きコートで練習試合を行うことができる。
練習試合を希望する学校のキャプテンは本部席まで申し込みをすること。練習試合は勝敗に関係なく5番まで行う。

5. [諸注意]

- (1) 持ち込んだ弁当の空き箱等のごみは、各学校で責任を持って後始末し、必ず持つて帰ってください。
- (2) 卓球シューズと下靴との区別をきちんとつけるようお願いします。
- (3) 体育館の施設利用規則を守ってください。
- (4) 貴重品や靴などの荷物の管理については、各自・各学校で十分注意してください。
- (5) 監督・アドバイザーは、当該年度(公財)日本卓球協会指定の役職者章をつけてください。
- (6) 選手の疾病・負傷などの処置は、各校でお願いします。

- (7) 体育館駐車場が満車の場合でも、近隣のスーパー等の駐車場には絶対に駐車しないようお願いします。
- (8) その他、中学生としての大事なマナーを守ってください。